

METHOD FOR FIXING STRAW BY ATTACHING HOOK TOOL IN CONTAINER

Publication number: JP2000043941 (A)

Publication date: 2000-02-15

Inventor(s): DEZUKI KIYOTO; DEZUKI HIROKAZU +

Applicant(s): DEZUKI HIROKAZU +

Classification:

- international: **B65D77/28; B65D83/00; B65D77/24; B65D83/00;** (IPC1-7): B65D77/28; B65D83/00

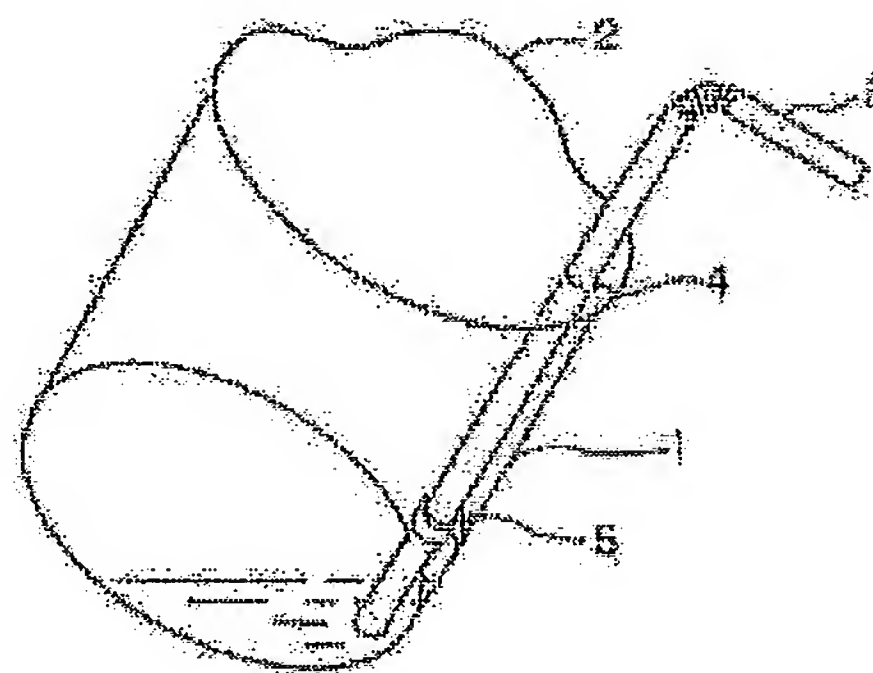
- European: B65D77/28; B65D77/28C

Application number: JP19980247700 19980729

Priority number(s): JP19980247700 19980729

Abstract of JP 2000043941 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To dip the end of a straw at all times even when a container is inclined in the case of drinking a drink in a plastic container or a paper pack container. **SOLUTION:** A hook tool 5 for fixing firmly a straw 3 on a section facing an insert section of the straw 3 is fixed on the inner side face or the bottom face of a container to hook the straw thereon.



Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-43941

(P2000-43941A)

(43) 公開日 平成12年2月15日 (2000. 2. 15)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 77/28		B 6 5 D 77/28	3 E 0 1 4
83/00		83/00	G 3 E 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

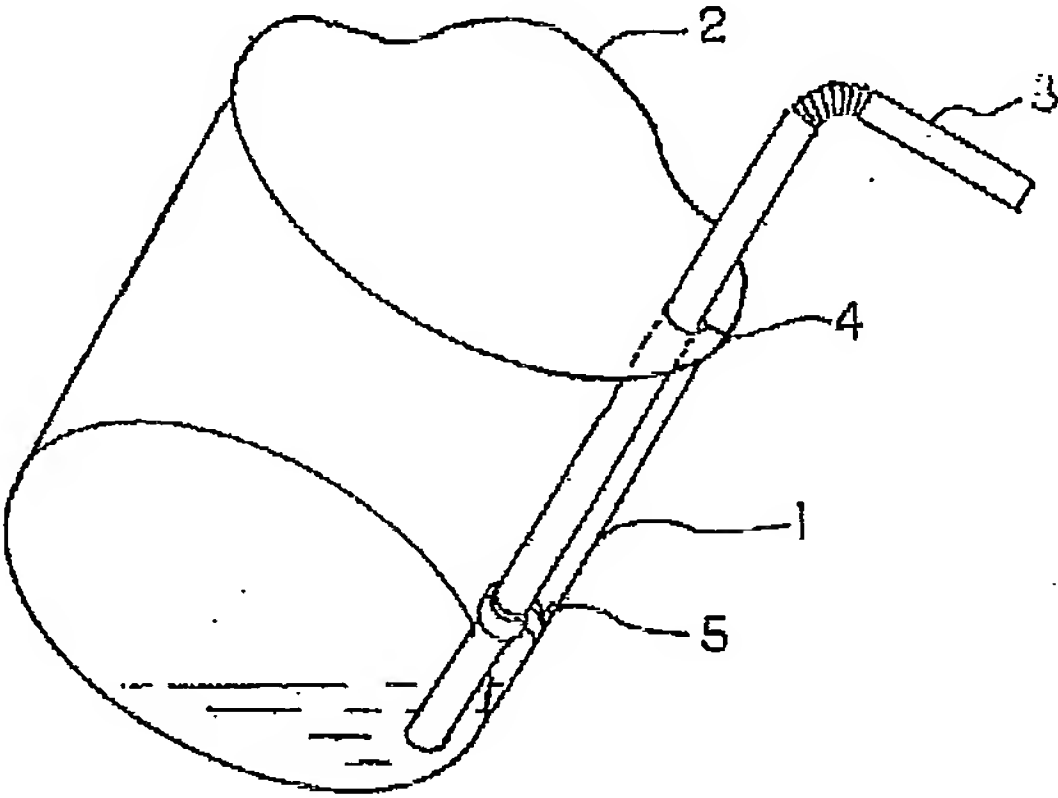
(21) 出願番号	特願平10-247700	(71) 出願人	592101172 出月 宏和 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町820
(22) 出願日	平成10年7月29日 (1998. 7. 29)	(72) 発明者	出月 清人 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町820番地
		(72) 発明者	出月 宏和 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町820番地
		Fターム (参考)	3E014 GA02 3E067 AA03 AB26 BA06A BA07A BA12A BB01A BB14A CA11 EA06 EE24

(54) 【発明の名称】 容器の中に留め具を付けてストローを固定する方法

(57) 【要約】

【課題】プラスチック容器や紙パック容器中の飲料中に、それを吸い飲む場合に容器を傾けても、ストローの先端を常に入れておくこと。

【解決手段】容器の内部側面や底面の、ストローの挿入口に相対する部分に、ストローを固定する留め具を固設して、ストローを留めておくこと。



【特許請求の範囲】

【請求項1】プラスチック製或いは紙パック製容器内部の側面または底面に、棒形状や穴を形成したり、またはフック形状や挿入穴を有する留め具を固設して、それにストローを差し込み固定する方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、プラスチック製や紙パック製の容器中の飲料をストローで飲む構造に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の蓋付きのプラスチック製の容器や紙パック製の容器に入っている飲料を飲むときは、プラスチックの蓋や紙パック容器の端に明けてある穴にストローを差し込んで、中の飲料を吸い上げていたが、飲料が少なくなると容器を傾けることになり、中のストローの先を常時、飲料中に入れておくことは難しかった。

【0003】殊に幼児は、少なくなった飲料の中にストローの先を入れておくことが出来ず、そのいらいら感は幼児の精神的な苦痛であった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】容器の中の飲料が少なくなり、容器を傾けたときに、ストローの先が常に飲料の中にあるようにすることであり、そのための技能的な煩わしさや精神的ストレスを無くすことにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】プラスチック製や紙パックの容器内部の側面または底面に、留めたときに、ストローを固定する棒形状または穴形状になる留め具またはストローの先が入る穴のある留め具やフック形状の留め具を固設し、ストローの先端を留めて、容器を傾けてもストローの先が常に飲料の中にあるようにする。

【0006】

【発明の実施の形態】容器1がプラスチックの場合は、図1のごとく容器は透明で、別に不透明樹脂による蓋2があり、それにストロー3の挿入口4がある。その蓋を中の飲料がこぼれないように、容器にねち込み式で、しっかりと留めたときのストロー挿入口4に対応する容器中の、底に近い側面に図1のごとく側面に留めたときに、穴形状や棒を形成するような留め具5を固設する。穴形状は、図5のごとき留め具を使い、棒形状は、図4のコの字形状でよい。或いはリング形状として、図6のごときフック形状の留め具を使い、ストローを横からはめるようにしてもよい。

【0007】なお、留め具は、後述する立方体の紙パック製の容器と同じく、容器の底面に固設する方法でもよい。

【0008】実施例の図2は、蓋付きの円筒形の紙パック製の容器6を透視図として示している。実施例は、図5のごとき留めたとき、穴を形成する留め具7を使って

いるが、図6のフック形状やコの字形状の図4のごとき留め具を使ってもよい。ストロー8を蓋に開けてある、または、容易に開けられるストロー挿入口9から容器の中に入れたとき、留め具7による穴開口部にストロー8の先端が入る位置に留め具7が固設してある。そして、容器6を図2のごとくに、傾けてもストロー8の先端は、飲料の中にあるようにする。

【0009】留め具は、容器と同材質で、熱溶融性のプラスチックであれば、互いに加熱溶着出来る。また溶剤が蒸発すれば、身体に害のない接着剤を使ってもよい。図2のごとく、紙パック製の容器でも、紙パックは、紙の表面をポリエチレン樹脂などポリオレフィン系の樹脂で覆ってあるから、同材質の留め具であれば、熱溶着は可能である。蓋も熱溶着して密閉することも出来る。

【0010】実施例の図3は、立方体の紙パック製の飲料容器である。ストロー12は、コーナーに設けた、ポリエチレンフィルムなどの破り易い薄膜を張った穴13を通して容器11の中に入り、その先端は容器内部の底部に固設した留め具14が形成する穴に挿入され固定されてある。その留め具は図9の形状であるが、図8のごとく上部にストローの入る穴を明けた留め具でもよい。

【0011】図7のごとき留め具を容器内部のストロー挿入口に相対するコーナーに固設してもよい。ストローを入れる穴は、それに対応しストローの先端を挿入する留め具が的確に固設出来れば、コーナーに限られることはない。

【0012】紙パックは、紙の内面をポリオレフィン系の樹脂で覆ってあるから、同材質の留め具であれば、熱融着は可能であり、箱を組み立てる前に、所定の場所に接着して、それを組み立てればよい。

【0013】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように飲料容器中に、ストローが固定出来るから次に記載されるような効果を奏する。

【0014】飲料容器を傾けても、ストローの先端は、常に飲料中にあり、特に紙パック容器のごとき中の見えない飲料でも、従来のような、残り少ない飲料の中にストローの先端を入れる探り技能は不要となる。

【0015】透明の飲料容器でも、幼児が残り少なくなった中の飲料を飲むときに、ストローの先端を飲料中に入れておく、従来容器の場合の、いらいら感はなくなり、親は安心して幼児に飲料を与えることが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】傾けた、蓋のねち込み式の透明プラスチック容器と容器内のストローおよび留め具の関係を示す側面図である。

【図2】傾けた、円筒形の紙パック製容器と中にストローを留め具で固定してある透視側面図である。

【図3】立方体形状の紙パック製容器にストローを挿入し、底面に固設してある留め具でストローの先端を固定

してある透視した斜視図である。

【図4】コの字形状の容器内側面用留め具である。

【図5】半円筒形状の穴を形成する容器内側面用留め具である。

【図6】フック形状の容器内側面用留め具である。

【図7】角柱筒を形成する容器内側面用留め具である。

【図8】穴を設けた容器内底面用留め具である。

【図9】容器内側面に接して底面に固設する留め具であ

る。

【符号の説明】

1 プラスチック製飲料容器

2 プラスチック製容器の蓋

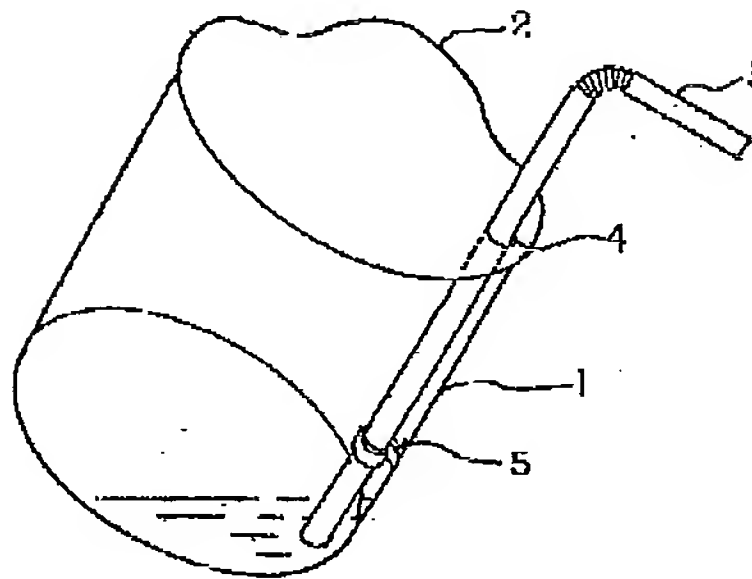
3、8、12 ストロー

4、9、13 ストロー挿入口

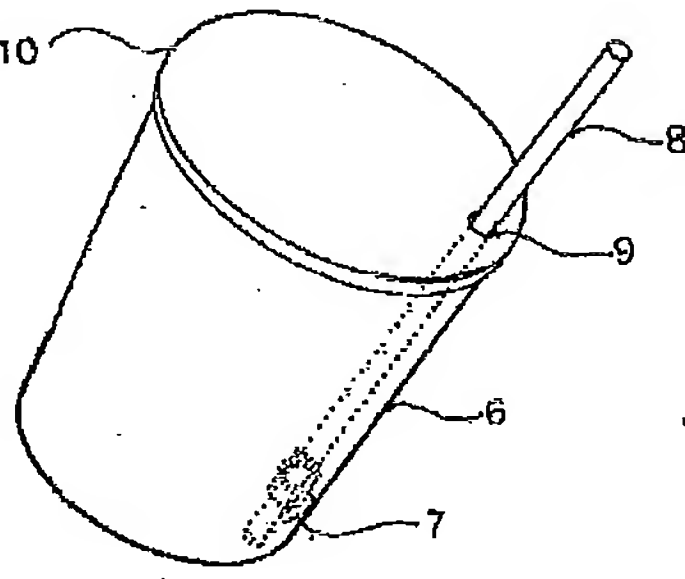
6、11 紙パック製飲料容器

5、7、14 留め具

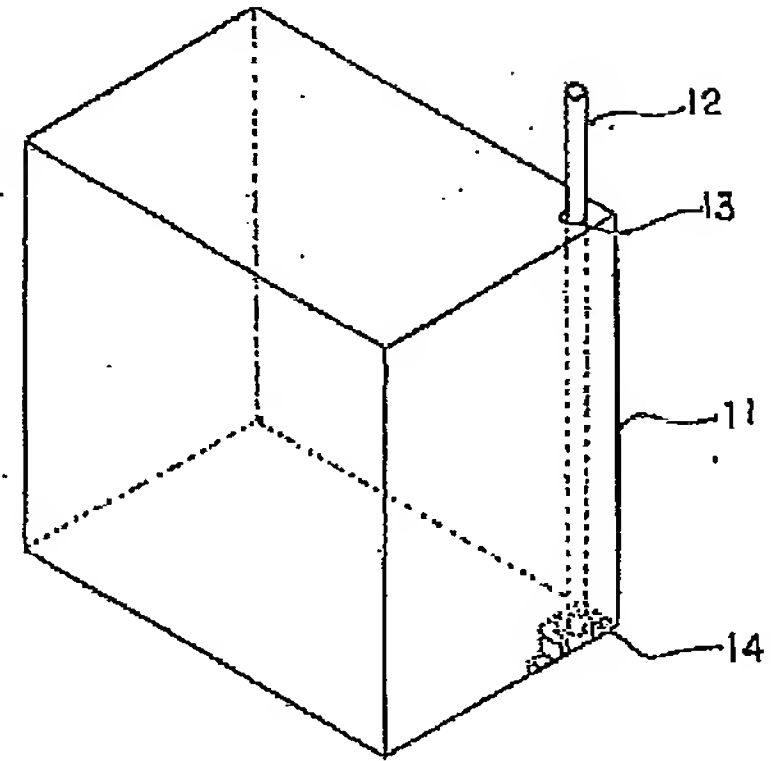
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】 【図5】 【図6】 【図7】 【図8】 【図9】

